

計画事業番号	00293	事務事業名	学校施設(体育館)開放事業	担当部署	教育部社会教育課	電話	4845
--------	-------	-------	---------------	------	----------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	北広島市立学校の施設の開放に関する規則				
事務事業開始年度	平成5年度	個別計画等	北広島市教育基本計画 2011-2020				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち	
	(第 8 節) スポーツ活動の推進	
	(施策 3) スポーツ施設の整備と運営	
2 対象	市内に在住、在勤するもの10名以上で構成されるスポーツ活動団体	
3 目的と内容	市民の健康維持及び体力向上に資するため、小中学校体育館の開放を行いスポーツ活動の場を提供する。	
4 実施内容 (手段)	28年度まで	小中学校の体育館を開放する。各学校に管理指導員を配置した。1校については、管理指導員業務を民間に委託した。
	29年度	昨年と同様であるが、小中学校の体育館を開放する。管理業務をすべて委託化する。

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
市内小中学校14校で実施	市内小中学校13校で実施	市内小中学校12校で実施	市内小中学校14校で実施	市内小中学校14校で実施	市内小中学校14校で実施	市内小中学校14校で実施	市内小中学校14校で実施

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	現状継続とする		
2次評価	現状継続	現状継続とする		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			4,163		5,655		8,383		8,383	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	986		1,010		650		650	
		一般財源	3,177		4,645		7,733		7,733	
		① 合計	4,163		5,655		8,383		8,383	
	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)		0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	
		③ 1人当り年間平均人件費		8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
		④ =②×③		4,200	0	4,200	0	4,200	0	
総事業費①+④			8,363		9,855		12,583		12,583	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	① 学校開放数	校	14	12	14	14
		目標値				
		実績値	13			
	②	目標値				
	実績値					
	③	目標値				
	実績値					
	④	目標値				
	実績値					
成果指標	①	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	②	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				
	③	目標値				
	【指標の定義(算式等)】	実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	市民の主体的な活動を支援するとともに、健康の保持増進に資する事業であることから、活動の場の確保という観点から行政の関与は妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	概ね計画どおり成果が上がっている。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	管理人の一部を委託化することで学校開放率が向上した。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	コスト削減は困難である。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--